



●協働促進フォーラム●

～福祉のあるまちづくり～



東日本大震災から間もなく5年が過ぎようとしている現在、被災地においては高齢化や担い手不足をはじめとする様々な地域課題が特に顕在化しており、震災からの復興に向けて、これら地域課題の解決のための取組が求められています。

とりわけ、介護保険制度改正に伴い、それぞれの地域で必要とされる生活支援サービスを提供し、高齢者や家族を支える仕組みづくりが急務となっています。

これらの鍵を握るのは、NPO・市民活動団体や行政など多様な主体による『協働』です。

シニアや若者など、皆が力を合わせて地域の課題解決に向けて活躍できる社会を実現するためには、どのようなことが求められるかなど、『福祉のあるまちづくり』をテーマにともに考えましょう！

日時 平成28年1月27日(水) 13:00～17:00

会場 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール1
(仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル2F)

主催 宮城県



プログラム

13:00 開会・主催者挨拶

13:05 パネルディスカッション

テーマ「福祉のあるまちづくり」

【パネリスト】

荒川 直美氏 (NPO法人むすび 理事、東京都練馬区光が丘)

桑原 三郎氏 (NPO法人よろずや余之助 会長、群馬県太田市)

高嶋 賢一氏 (横浜市戸塚区役所地域振興課長)

【コーディネーター】

大久保 朝江氏 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

15:05 — 休憩 —

15:25 情報交換会

17:00 閉会

プロフィール



【パネリスト】

荒川 直美氏 (NPO法人むすび 理事)

むすび設立準備会メンバー。理事。平成13年～平成21年、事務局長を務める。また、居宅介護支援事業所・地域交流事業(むすび倶楽部)の立ち上げに関わり、企画・運営を担う。東京都練馬区光が丘を拠点に活動。平成26年より認知症にやさしいまちづくり活動に参加。現在、認知症カフェを運営し、認知症の方の声をポートレートにするボランティア活動を企画。平成27年より認知症フレンドシップジャパンイニシアティブ監事。



桑原 三郎氏 (NPO法人よろずや余之助 会長)

昭和24年生まれ、66歳。(株)エクステンション代表取締役。エクステリア製品販売会社及び放課後等デイサービス事業を運営。平成14年度経済産業省より市民活動活性化モデル事業の認定を受け、群馬県太田市にて、高校の同級生グループを核とした異業種専門家集団による高齢者の生きがい活動を、コミュニティビジネスの手法で実践している。



高嶋 賢一氏 (横浜市戸塚区役所地域振興課長)

昭和36年生まれ、54歳。昭和61年横浜市役所入庁。平成23年5月～平成26年3月まで市民局市民協働推進部市民活動推進課長。この間、市民協働推進条例制定、横浜市協働推進の基本指針策定、横浜市市民活動支援センター運営などに携わる。平成26年4月から戸塚区総務部地域振興課長。



【コーディネーター】

大久保 朝江氏 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

平成2年よりNPO活動を始め、3度にわたり、米国テラウェア大学のNPOマネジメント研修に参加。平成15年NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事に就任。仙台市市民活動支援策検討委員会委員のほか、宮城県NPO活動促進委員会委員を10年間務め、平成24年より日本NPO学会理事。平成23年より内閣府共助社会づくり懇談会委員を委嘱されている。これまで、自治体や行政のNPOに関する講座や講演などで講師を多数務めている。

聞いてみたい! あんなこと・こんなこと!

地域課題を解決するための「協働」を考える! 情報交換会

○情報交換会は、次の2つのテーマに分かれて実施します。

テーマ① 介護保険制度と地域のささえあい

テーマ② 協働による社会づくり(若者からシニアまでをどのようにまきこむか)

○情報交換会では、それぞれのテーマに関する課題等を共有するとともに、課題解決に必要な取組や協働のあり方などについて、情報や意見の交換を行います。

